

東部の指導だより

東部教育事務所
学校教育係発行 第9号
平成26年 12月18日

東部教育事務所では「はばたく群馬の指導プラン」を活用した授業改善の推進に向け、中学校3校において「確かな学力実践研究事業」を進めてまいりました。本号では、その成果を管内に普及するため、板倉町立板倉中学校の研究成果を紹介いたします。

平成26年度 「確かな学力」実践研究事業

社会科 公開授業・授業研究会

授業者 板倉町立板倉中学校 鈴木篤喜 教諭
平成26年10月27日(月) 第2学年



第2学年の日本の諸地域「関東地方」において、単元を貫く学習課題の設定と追究の見通しをもたせる授業を公開しました。

東部地区を中心に30名の参加者があり、授業を参観していただくとともに、熱のこもった授業研究会が行われました。



【単元】 2年 日本の諸地域 『関東地方』

【本時のねらい】 「なぜ関東地方にはこれだけ多くの人口が集中するのか」という学習課題を設定し、その課題に対して予想を立て追究の見通しをもつ。

【伸ばしたい資質・能力】

- ・ 関東地方の自然や地形等の特色を地図や統計資料から読み取る技能
- ・ 既習内容の知識やイメージから関東地方の地域的特色に結びつく課題を見出す力
- ・ 関東地方の地域的特色を多面的・多角的に考える力



授業の様子

1. 関東地方を大観する



宿題プリントをもとに関東地方の地名や位置を確認するために、地図黒板にフラッシュカードを貼らせた。

2. 関東地方のイメージを出し合う



人口が多い。

スカイツリーがある。

首都がある。

関東地方に対するイメージを多く出させ、関東地方の地域的特色に迫らせた。

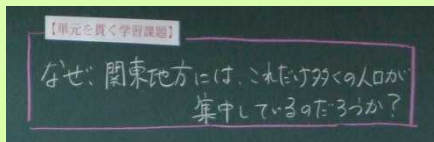
3. イメージや資料から関東地方の地域的特色を見出し、単元を貫く課題を設定する

「人口が多い」というイメージから「地方別の面積と人口」「関東地方の人口密度」の2つの資料を提示し、『なぜ関東地方にこれだけ多くの人口が集中しているのか』という単元を貫く課題を設定した。



人口密度も東京を中心に高いね。なぜ、こんなに人口が集中しているのかな。

関東地方は他の地方より面積が一番小さいのに人口が一番多いね。



4. 課題に対する予想を立てる



個人の意見をもたせるために、まずは個人で付箋紙に課題に対する予想を書かせた。

【生徒の主な反応】

- ・政治の中心（首都機能）
- ・交通網が発達
- ・情報・文化の中心
- ・多くの商業施設
- ・働きやすい、住みやすい

5. 今後の追究の見通しをもつ

(1) KJ法を用いた予想の分類・整理



① 3、4人の班を作り、個人の予想を共通点や相違点等から分類・整理し、小見出しをつけさせた。

高速道路や鉄道をまとめると？

交通網でいいかな。

住みやすさって例えばどんなこと？

地形や気候と関係があるかな。

② 班で考えた小見出しをホワイトボードに転記し、黒板に貼らせた。



授業の様子

(2) 小見出しのさらなる分類・整理



8つの班から出された小見出しを教師が中心になり、さらに分類・整理し、何を調べれば課題が解決できるのかを明確にした。

【1班】
政治の中心
都会
平野
交通
地理的位置

【2班】
地形
文化・観光
交通
お金

【3班】
野菜
地形
工業
交通

【4班】
地形
交通
都会
観光
気候

【5班】
人口
環境
観光
仕事

【6班】
経済
人種
人口
交通
住む

【7班】
気候
地形
観光
交通
仕事

【8班】
交通
仕事
建物
政治
地形

- T. 各班のホワイトボードを見て、共通していることは何か？
 S. 「交通」が多いと思います。 **交通網の発達**
 T. 他には？
 S. 「政治」や「都会」という言葉も目立ちます。
 T. 東京にはいろいろなものが集中しているよね。

政治・経済・文化の中心

- S. 「地形」も多いです。
 T. 「環境」と「気候」という小見出しもあるけど、まとめるとうどうかな？
 S. 自然環境という言葉でまとめられると思います。

自然環境

- T. 「仕事」という小見出しもあるけど、これはどういう意味かな？
 S. 店がたくさんあり、働く場所が多いということです。
 T. 「工業」や「野菜」と結びつけるとどうかな？
 S. 産業が発達してるということだと思います。

産業の発達

6. 本時の学習を振り返る



みんなで考えた予想をもとにして、「なぜ関東地方にこれだけ多くの人口が集中しているのか」を考えていきましょう。

【授業研究会での意見】

<よかった点>

- ・予習が授業に生かされ、関東地方の地形や気候の理解に役立っていた。
- ・資料提示が効果的で、生徒主体の課題設定につながっていた。
- ・課題に対する追究の見通しをもたせる上でKJ法は有効であった。
- ・課題の設定から追究の見通しをもたせる中で生徒の主体的な活動が見られた。



<改善点>

- ・個人の意見をもっと重視してもよかった。
- ・グループの中の低位な生徒への支援も必要であった。

【参加者の声】

- ・単元を貫く課題設定への過程が、自分なりの課題だったので、とても参考になった。
- ・課題をもって学習を進めることが、生徒の学習意欲や思考力の伸長に大切であることが分かる授業だった。
- ・教師が単元を貫く学習課題を生徒主体で設定していくという意識をもつことが大切だと感じた。
- ・生徒に課題に対する予想を立てさせ、そこから追究の見通しをもたせることの大切さを学んだ。
- ・導入部分の授業の流れやKJ法を生かした授業展開が、今後の実践の参考になった。
- ・指導案が分かりやすく、今後の指導の参考になった。

【授業者の感想】

単元を貫く学習課題の設定には、伸ばしたい資質・能力を明確にし、教材をどうとらえるか考える必要があります、簡単ではありませんでした。

しかし、生徒主体の学習を進める上で有効であり、今後も皆様の意見を参考に授業改善を図っていきたいと思います。

本日は大変ありがとうございました。

